

オープン系共同利用型クラウド勘定系システム「統合バンキングクラウド」の検討について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、MEJAR参加行（注1）とともに、次期勘定系システムの基盤に関して、株式会社NTTデータ（以下「NTTデータ」）が構築する国内初となるオープン系共同利用型クラウド勘定系システム「統合バンキングクラウド」について、下記のとおり検討を進めていくことをお知らせいたします。

記

1. 概要

当行は、MEJAR参加行とともに、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、勘定系システムの基盤に関して、従来の「メインフレーム」から、さまざまなハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」を2024年1月に採用しました。なお、「オープン基盤」では、NTTデータが開発・提供する「PITON™（ピトン）」（注2）を国内で初めて採用しております。

今後、当行は、MEJAR参加行と共に、より安心・安全・安価・持続的な勘定系システムを利用しつつ、経営資源を戦略領域に集中することで、お客さまに付加価値の高いサービスを提供することを目指し、次期勘定系システム（2030年度を予定。広島銀行との共同利用含む）の基盤検討の一環として「統合バンキングクラウド」（注3）について検討を進めてまいります。

なお、「統合バンキングクラウド」は、共同研究会「CMS-WG」（注4）の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取組みの一環であり、地銀共同センターは、2028年の「統合バンキングクラウド」の第一号適用を目指し、取組みを進めていく予定です。

注1. 横浜銀行、北陸銀行、北海道銀行および東日本銀行。なお、広島銀行が、2030年度に共同利用を開始予定

注2. メインフレーム向けに開発された業務アプリケーションをオープン基盤上で稼働可能とするフレームワーク

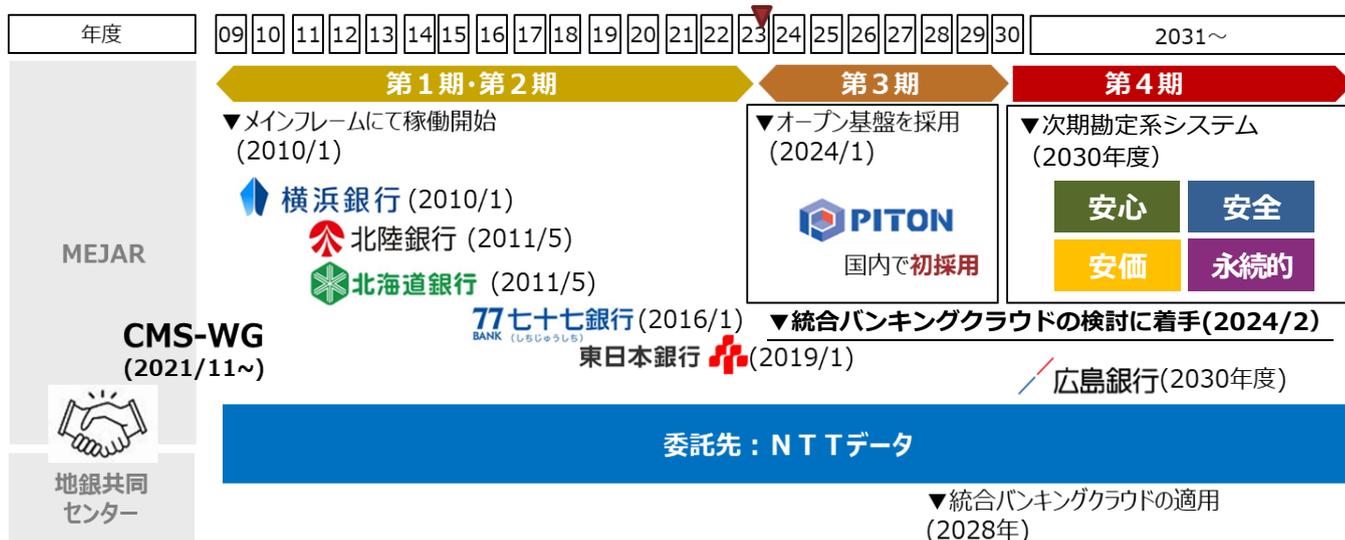
注3. NTTデータが金融機関専用のコミュニティクラウドを構築し、地銀共同センターやMEJAR等の更なるシステム共同化を図る構想。共同化の範囲は、データセンター設備やハードウェア部分のみであり、業務アプリケーションは、従来どおり共同化グループ毎に開発する

注4. 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ。地銀共同センターおよびMEJARが、共同化グループの枠組みを超えた勘定系システムの効率的運用等を検討するため、2021年11月に設立

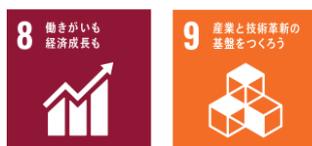
- 1 -



2. 今後のスケジュール



(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ~ もっと、ずっと、地域と共に。~」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上